



高田地区キャラクター  
「たかたん」

# 高田町内会だより

第 37 号  
発行日: 令和4年11月1日  
発行者: 高田町内会  
会長 相沢 一夫

## “高田”の思い出

高田町住宅自治会 会長 石井達也



石井達也様

当自治会は、高田地区の中で一番南東の端に位置し、全戸数 210 世帯と、高田町連合町内会 8 町内会の中で、2 番目に小さい町内会です。ただ、歴史は古く、8 町内会の中で、高田町内会、住宅親交会に次いで 3 番目に古い昭和 36 年 4 月設立です。私自身も、昭和 29 年から住んでおり、遙か遠くの高田小学校へ 6 年間通いました。小学校を卒業した後は、中学校が新田中学だったせいもあり北西の方角に目を向ける事はまずありませんでした。結婚し、子供ができ、実家に戻ってきた昭和 56 年以降、正月に天満宮参りなどし、高田小学校を眺めはするものの、年に数回の事です。そんな私でも、年をとり、昔を懐かしむ心境が芽生えたのか、犬の散歩は早瀬川の土手を上流に向かって歩き、高田西公園脇の坂道を上って、高田中学校—高田小学校—興禅寺墓地裏から高田東小学校を巡るコースです。竹林脇の細い道の途中に、同級生の女の子の家がやっている駄菓子屋さんがあったのですが、今ではこのあたりかな、というぐらいの場所感しかありません。高齢化の進行が早い街「高田」と言われています。いつの間にか自分も高齢化を早めている年代になってしまいましたが、まだまだ元気に人生を楽しんでいきたいと思っています。

## 防災の取り組み

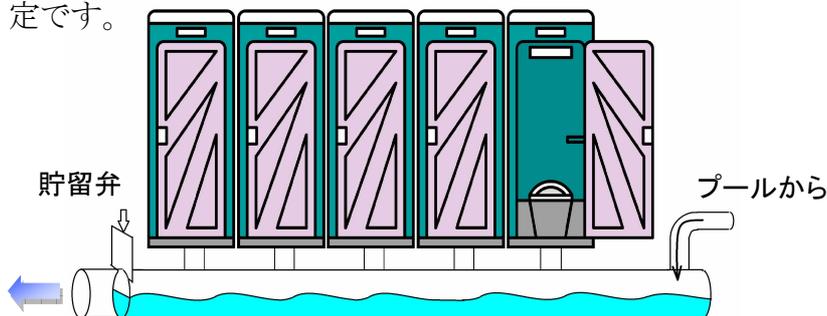
### 高田東小学校に災害用仮設トイレ

災害時の避難場所のひとつ、高田東小学校に「災害時下水直結式仮設トイレ」(通称: 災害用ハマッコトイレ)を設置するための下水管工事が完了しました。場所は、正門から入って右手の給食室前で、普段はマンホールが並んでいるだけです。「災害用ハマッコトイレ」は、災害時に断水で水洗トイレ



が使用できなくなった場合に設営し利用します。利用時は、プールからポンプで汲み上げた水で、直接下水に流す

ことができ衛生的です。今年の12月に予定の高田東小学校防災拠点避難訓練では、設営とポンプの作動確認を行う予定です。



### 災害用ポータブル電源

今年度町内会は災害時用にガスボンベ式発電機1台を購入しました。連合町内会からは昨年度ソーラーパネルと充電器各7台が配布されました。

停電時、パソコンの使用や、皆様のスマホなどの充電に役立ちます。



### 「無事ですタオル」掲示訓練

9月1日防災の日に「無事ですタオル」掲示訓練を行いました。

朝夕雨で、また掲示確認を行う予告なしであったにも関わらず375会員(集合住宅を除く)の参加を確認できました。今後も掲示訓練を行う予定です。

## 令和4年度高田町内会 会計監査が決定

1区27班	志村 晴江様
2区51-2班	宮田 晴夫様
3区12班	白石 香恵様



設置した防犯カメラ

設置にあたっては、横浜市と「港北安心・安全コミュニティー創生協議会」の補助金を利用しました。

白坂台住宅は高田東小学校児童の通学路となっている袋小路の地域です。地域特性に起因しているのか、空き巣や居空き(住民が在宅時の泥棒)の被害などがまれに発生しています。去年は、住宅内を通った自動車がコンクリート電柱に激突・倒壊させ、逃走する事件も発生しました。港北警察署のご指導のもと、防犯カメラは2箇所

に設置し、人と自動車の侵入状況を捉えることができるようになりました。住民から「生活がより安心できる」「時々見かける“つきまとい”の抑制に繋がる」などの意見を頂いています。

白坂台住宅の防犯カメラは住民生活や通行・通学の安心・安全の一助として活躍しています。

## 白坂台住宅で防犯カメラ設置

「白坂台住宅部会」(高田町内会に所属する自治会の一つ)では、部会の独自予算・運用基準で本年6月から防犯カメラの設置・運用を開始しました。

## ご長寿のお祝い

毎年、9月はご長寿のお祝いを差し上げており、昨年よりお茶かコーヒーを選べるようにしました。今年度は団塊の世代が古希(70才)と喜寿(77才)の間になったためか、お祝い該当者が減少しました。カッコ内は去年の人数

### 贈呈数

お茶 95名(147)

コーヒー 73名(62)

その内、101歳以上の方は7名でした。

## 高田って どんどころ？ -33-

### “カワセミ”棲む早淵川

高田の南側を流れる早淵川には、“空飛ぶ川の宝石”と言われるカワセミがいます。背中のエメラルドグリーンからそのように呼ばれるのでしよう。カワセミの漢字表記は沢山ありますが、その中の一つに翡翠があります。宝石の翡翠(ヒスイ)はこの鳥からつけられたそうです。

水面から1m程の高さを保ったまま水平に飛ぶので、何気なく土手を散歩していてもその独特な飛び方で気が付きます。

何かにとまる時も水面から1m程の高さにとまり、川の中の魚めがけて飛び込みます。



ある時は魚が大きすぎたのか、何度もコンクリートに打ち付けて魚を弱らせていましたが、口にくわえたまま飛び去って行きました。

今年の8月の朝5時に早朝散歩から帰って来た妻に、「カワセミが4羽集まっているよ」と言って起こされてしまいました。集まっている様子など見たこと無いので急いで着替えて行ってみると、1羽が追い出されるところでした。残された3羽の内、2羽は母子でした。給餌の様子を数日間見ることが出来、大きなカメラで撮影する人もいました。

QRコードからその様子の動画などをご覧頂けます。



**編集後記** 前号では災害発生時に役立つ「無事ですタオル」の使用方法をお伝えし、9月1日に「掲示訓練」をしました。当日は生憎雨でしたが、門扉や玄関ドアにかけられていました。又、各家庭の災害備蓄品の状況もお知らせしました。今号では、町内会に新しく備えた備品を掲載しました。今後も防災に関してお知らせします。(M.M)